



応援プロジェクト

新型コロナ ウイルス に負けるな!



今号も、新型コロナウイルス感染症に関する、さまざまな支援策を紹介します。

地元で使って地元を支える！ 桐生応援プレミアム商品券

問い合わせ＝商工振興課（☎内線 563・564・582）

市内の消費喚起を図り、市内経済の好循環を創出するため、「地元で使って地元を支える！桐生応援プレミアム商品券」を発売します。

■発行総額

5億6,000万円

■発行数

4万セット

■取扱店

商品券を使用できる取扱店一覧は、7月上旬までに市ホームページに掲載するほか、商工振興課（市役所3階）、新里・黒保根支所、各公民館で配布します。（7月上旬以降も随時更新します）

■購入対象者

6月17日に、住民基本台帳に記録されている人

■発売価格


1セット1万円（券総額1万4,000円。1,000円券の14枚つづりで、一般店専用券が10,000円分、一般店大型店の併用券が4,000円分。）


■購入限度

1人3セット（3万円）まで
※発行数を超えた場合は、抽せんなどにより購入数を調整します。

■申し込み

往復はがきにより、7月15日（水）まで（当日消印有効）に郵送で商工振興課へ。
※はがきは1人につき1枚必要です。家族分を申し込む場合は、人数分のはがきを送付してください。

 往信	郵便往復はがき 3768501	※この面には 何も記入しないで ください
桐生市商工振興課 宛	桐生市織姫町一 一	

 返信	郵便往復はがき □□□□□□	桐生応援プレミアム商品券 申し込み
住所、氏名を記入してください	申込者の郵便番号、	①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤購入希望セット数 （最大3セットまで）

桐生応援プレミアム商品券の取扱店募集

■取扱店の条件

- 以下の全てを満たす事業者
- ・市内に店舗、事業所などを有する事業者
- ・風営法第2条第1項第4号及び第5号に定める営業並びに同条第5項で定める事業者でないこと
- ・特定の宗教・政治団体と関わる業務でないこと
- ・暴力団や暴力団員、暴力団員と関係を有しないこと

■申し込み

申込書を、郵送（〒376-8501 織姫町1-1）、ファクシミリ（43-1001）、Eメール（shohinken2020@city.kiryu.lg.jp）で、商工振興課へ。

申込用紙は市ホームページにあります。そのほか、商工振興課（市役所3階）、新里・黒保根支所にもあります。

新型コロナウイルス対策子育て世帯応援事業

問い合わせ＝子育て支援課子育て支援係（☎47-1152）

子育て世帯の経済的負担軽減および地域経済の活性化を図るため、桐生応援プレミアム商品券を給付します。

対象者には、6月下旬に案内を郵送しました。受給のための申請は不要です。

■対象児童

平成17年4月2日から令和2年5月17日までに生まれ、6月17日（基準日）において、本市の住民基本台帳に登録されている児童

■受給権者

対象児童の属する世帯の世帯主

■給付額

対象児童1人につき5,000円分の商品券

■給付方法

給付決定の人には、7月23日（祝）以降、順次簡

易書留にて郵送予定です。

■受給辞退

受給を辞退する場合は、受給拒否の届出書を子育て支援課（保健福祉会館1階）に提出してください。届け出期限は、7月14日（火）（必着）です。

届出用紙は、同課、市ホームページにあります。

■その他

配偶者などからの暴力を理由に、6月17日において、市内に対象児童とともに避難していた人で、一定の要件に該当する人は、申出書の提出により受給が可能となる場合があります。対象と思われる人は、お早めに子育て支援課へご相談ください。（7月14日（火）までに、申出書の提出が必要です。）

特別定額給付金

問い合わせ＝特別定額給付金専用ダイヤル（☎22-8455）

申請はお済みですか？



← 薄黄色の封筒が届きます。

→ 封筒の中に申請書が入っています。



特別定額給付金（10万円）の申請受け付けを行っています。

受付期限は8月20日（木）（当日消印有効）です。忘れずに申請をしてください。

申請書の再交付が必要な人は、市ホームページにあります。

不明な点に関する問い合わせは、平日午前9時から午後5時まで、特別定額給付金専用ダイヤルで受け付けています。

国民健康保険税・ 後期高齢者医療保険料の減免

問い合わせ＝医療保険課保険税係（☎内線 274・275）

■対象

次のいずれかを満たす人

- ・新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡、または重篤な傷病を負った世帯の人
⇒保険税（料）を全額免除
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の収入（減少見込み）が以下の全てを満たす世帯の人

- ①事業収入や給与収入など、種類別収入のいずれかが、前年に比べて10分の3以上減少する見込みである
- ②前年の所得の合計額が1,000万円以下
- ③①の所得以外の前年の所得合計額が400万円以下
⇒保険税（料）の一部を減額

■必要書類（①・②は市ホームページにあります）

- ①申請書
- ②収入申告書（国保）、収入申立書（後期高齢者）
- ③令和2年中の収入を証明する書類（事業帳簿や給与明細書等）のコピー

■申し込み

必要書類をそろえて、郵送で医療保険課保険税係（〒376 - 8501 桐生市役所）へ。

■減免額の算出方法

減免額＝対象保険税（料）額(A × B/C) × 減免割合(D)

減免対象の保険税額 (A × B/C)	
A:	国民健康保険税…世帯の国保被保険者全員について算出した保険税額 / 後期高齢者医療保険料…後期高齢者医療保険の被保険者の保険料額
B:	世帯の主たる生計維持者の減少が見込まれる収入にかかる前年の所得額
C:	主たる生計維持者および世帯の被保険者全員の前年の合計所得金額

主たる生計維持者の前年の合計所得金額に応じた減免割合 (D)	
300万円以下の場合：	全部（10分の10）
400万円以下の場合：	10分の8
550万円以下の場合：	10分の6
750万円以下の場合：	10分の4
1,000万円以下の場合：	10分の2
新型コロナウイルス感染症の影響により、事業などの廃止や失業の場合：	全部（10分の10）

介護保険料の軽減

問い合わせ＝健康長寿課介護管理給付係（☎内線 391）

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業収入などの減少が見込まれる場合は、65歳以上の人の介護保険料が軽減されることがあります。

■対象

同一世帯内の主たる生計維持者の事業収入、不動産収入、山林収入、給与収入の減少が見込まれ、次の①および②に該当する場合

- ①令和2年の事業収入などが、令和元年と比べて10分の3以上減少する見込みである
- ②①の所得を除き、令和元年の所得の合計額が400万円以下

※主たる生計維持者の令和元年合計所得金額が0円の場合には該当になりません。

■必要書類（①・②は市ホームページにあります）

- ①申請書
- ②収入申告書
- ③令和2年中の収入を証明する書類（事業帳簿や給与明細等）のコピー

■申し込み

まずは、電話などで必要書類について確認をお願いします。その後、直接または郵送で健康長寿課介護管理給付係（市役所1階、〒376 - 8501 桐生市役所）へ。

国民年金保険料の 免除・納付猶予・学生納付特例

問い合わせ＝桐生年金事務所（☎ 44 - 2311）、市民課年金係（☎内線 273）

収入が減少し、国民年金保険料の納付が困難な場合には、臨時特例措置として免除・納付猶予申請ができます。大学、短大、専門学校などの学生は、学生納付特例申請（納付猶予）ができます。

■対象

以下の全てを満たす人

- ・令和2年2月以降に、収入が減少した
- ・令和2年の所得見込額が、国民年金保険料免除基準相当（学生の場合は、学生納付特例基準相当）になる

■必要書類

- ①国民年金保険料免除・納付猶予申請書（学生は、国民年金保険料学生納付特例申請書）
- ②所得の申立書（簡易な所得見込額の申立書（臨時特例用））
- ③学生証のコピー※学生のみ

■申し込み

直接市民課（市役所1階）または新里・黒保根支所市民生活課へ。

「新型コロナウイルス感染症対策事業」への 寄附（ふるさと納税）を募集

ふるさと桐生応援寄附金の使い道として「新型コロナウイルス感染症対策事業」を設け、寄附の募集を開始しました。



寄附者には、寄附額に応じて、市内繊維産業の技術力を生かした「made in^{メイドイン}桐生のマスク」を返礼品としてお送りします。

市外にお住まいの家族や親戚、友人に、「ふるさと桐生応援寄附金」のご紹介をお願いします。

寄附の方法については、企画課（市役所3階）へ申し出るか、市ホームページをご覧ください。

※市民もふるさと納税をすることができますが、制度上、市民には返礼品をお送りできません。（税額控除の対象にはなりません。）

問い合わせ＝企画課企画戦略担当（☎内線 524）

こんにちは
市長です



繊維のまち
メイドイン桐生のマスク

5月19日の市長定例記者会見で市内企業が製作した布製マスクの情報を発信しました。1300年の歴史を持つ「織都」桐生に集積する各種繊維事業者の皆様が、それぞれの技術とセンスを活かして特色のあるオリジナル布マスクを製造販売しています。

このコロナ禍は、全ての人々にとって苦難をもたらす状況となっておりますが、その中であって事業者の皆様は培った技術や知恵をもって苦難に立ち向かい、また誰かのために貢献したいと頑張っています。市としても「メイドイン桐生のマスク」をふるさと桐生応援寄附金の返礼品として活用することにより繊維のまちとして広く発信していくとともに、ジェットロや桐生商工会議所などと連携し、海外も視野に入れた販路拡大を支援するなど、事業者の皆様を積極的に応援していきます。

桐生市長 荒木 恵司